



議会新体制のスタート (5月8日 撮影)

 ひろお

議会だより

No.210

2024年6月1日発行

【令和6年第1回定例会】



「広尾サンタランド」認定40周年

議会新体制 議長に堀田議員、副議長に山谷議員

2

町政運営の経費を基本とした「骨格予算」に

4

一般質問 (4人が登壇)

／予防接種の助成／少子化対策／産後ケア

12

産業常任委員会 **サンタランド事業の概要**

17

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

議会新体制 スタート

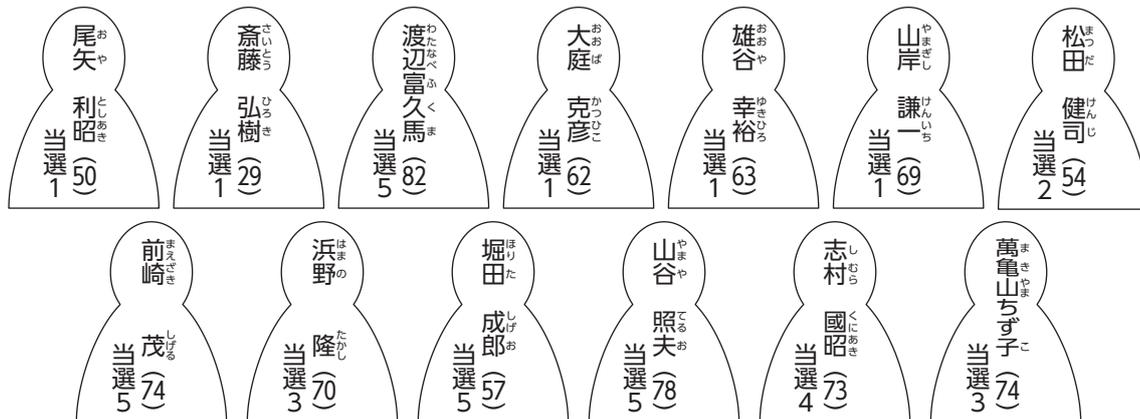
令和6年
第2回臨時会
(初議会)
5/8

任期満了に伴う広尾町議会議員選挙（定数13人）は、新人5人を含む14人が立候補し、4月21日投票が行われ、現職8人と新人5人が当選しました。新議員の任期は、令和6年4月30日から令和10年4月29日までの4年間となります。

一般選挙後の初議会（第2回臨時会）は5月8日に開かれ、正副議長（再任）や委員会構成などを決定。議会の新体制がスタートしました。



議長に堀田成郎議員、副議長に山谷昭夫議員



議長・副議長選挙

議長、副議長の選挙はもとに投票により実施され、議長選挙は堀田成郎議員、副議長選挙は山谷照夫議員が当選しました。

一部事務組合 議会議員選挙

一部事務組合議会議員の選挙は、全て議長の指名推選により当選しました。

南十勝複合事務組合議会議員（定数2）

浜野 隆
萬亀山ちず子

◆議長選挙開票結果

堀田成郎議員 11票
前崎 茂議員 1票
山谷照夫議員 1票

◆副議長選挙開票結果

山谷照夫議員 13票

◇十勝圏複合事務組合議会議員（定数1）

堀田 成郎

◇とかち広域消防事務組合議会議員（定数2）

堀田 成郎
山谷 照夫

※指名推選

地方議会で行う選挙（議長、副議長、仮議長の選挙、選挙管理委員及び補充員の選挙等）について、投票によらず、あらかじめ指名者を定めてその者の指名する者を当選者とする方法のことです。

◎指名推選の方法をとることができる条件は枠外を参照。

新しい委員会構成決まる

総務常任委員会

委員長 浜野 隆
副委員長 雄谷 幸裕
委員 山岸 謙一
松田 健司
志村 國昭
山谷 照夫

議会運営委員会

委員長 志村 國昭
副委員長 松田 健司
委員 尾矢 利昭
山岸 謙一
前崎 茂
山谷 照夫

総務・企画・住民・保健福祉の各課、出納室、老人ホーム、特別養護老人ホーム、教育委員会、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員の事務に関する調査等を行います。

議会広報特別委員会

委員長 萬亀山ちず子
副委員長 斎藤 弘樹
委員 大庭 克彦
雄谷 幸裕
浜野 隆
渡辺富久馬

産業常任委員会

委員長 前崎 茂
副委員長 萬亀山ちず子
委員 斎藤 弘樹
尾矢 利昭
大庭 克彦
渡辺富久馬

農林・水産商工観光・建設水道・港湾の各課、農業委員会の事務に関する調査等を行います。

議会の活動を町民にお知らせするため、議会広報の発行やウェブサイトの編集などを行います。

議長就任あいさつ



今般、12年ぶりの町議会議員選挙により選ばれました13名の新たな議員構成のもと5月8日に開かれました改選後初議会におきまして、引き続き議長に選出いただきました。

昨今の地方自治を取り巻く環境は、止まらない人口減少を背景に非常に厳しいものとなっております。我が広尾町も民間の有識者グループである「人口戦略会議」において「消滅可能性自治体」として名前が挙がる危機的な状況です。このようなことから皆様様の重大な付託を受けている議会は、行政とともに将来の広尾町の在り方をしっかりと見据え、町長部局の単なる追認機関になるのではなく、より具体的な政策提言機関としてその力を発揮しなくてはなりません。全国を見渡すと10年前に「消滅可能性自治体」とされた239の自治体が今回の調査ではそれを脱却しているように、我が町においても確固たる目標を掲げ、議員一人ひとりが、将来に向け明るく豊かな広尾町を創り上げるために一杯働いてまいり決意であります。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

広尾町議会議長

堀田 成郎

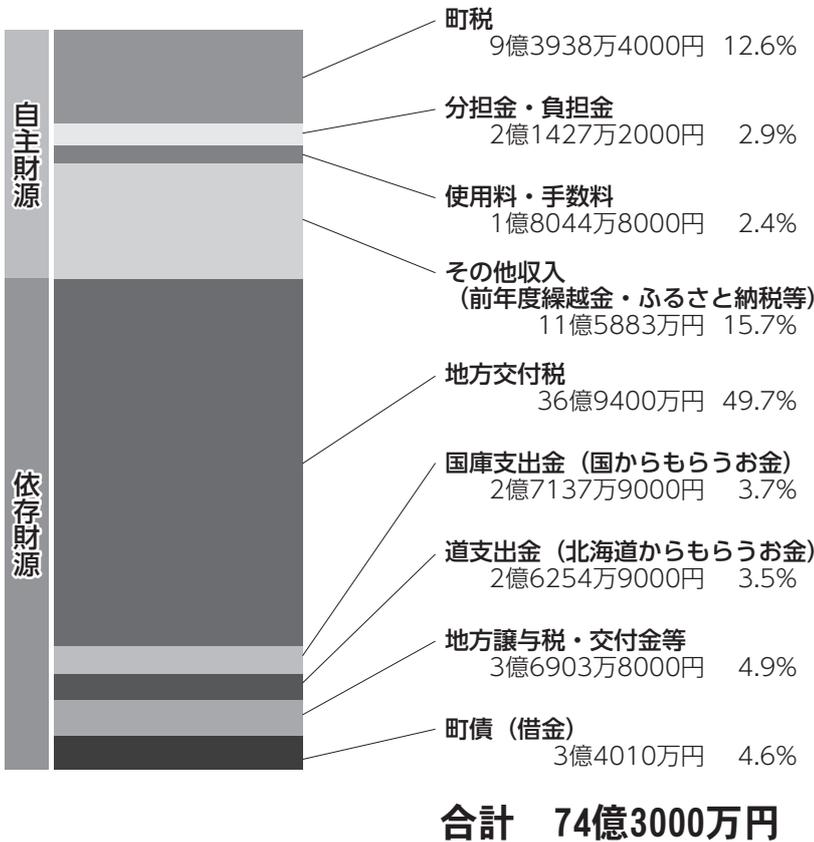


※指名推選の方法をとることができる条件
①指名推選の方法によること、②指名の方法（誰が指名するか）、
③指名者によって指名された者を当該選挙における当選人とする
ことのすべてに、出席者全員異議がないこと。

本とした「骨格予算」

令和6年
第1回
定例会

一般会計収入（歳入）



令和6年第1回定例会は、3月5日（火）から13日（水）までの9日間の会期で開かれました。条例の制定や一部改正、補正予算、令和6年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

◆令和6年度各会計の予算額

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較
一般会計	74億3000万円	73億2700万円	1億300万円
港湾管理特別会計	1億480万円	1億210万円	270万円
国民健康保険事業勘定特別会計	8億8300万円	9億4970万円	△6670万円
介護保険特別会計	7億550万円	6億9820万円	730万円
介護サービス事業特別会計	16億3230万円	2億4400万円	13億8830万円
後期高齢者医療特別会計	1億4280万円	1億3090万円	1190万円
病院事業債管理特別会計	4502万7000円	6883万円	△2380万3000円
水道事業会計	4億7555万5000円	4億5222万6000円	2332万9000円
下水道事業会計	6億4235万8000円	6億5020万1000円	△784万3000円
合計	120億6134万円	106億2315万7000円	14億3818万3000円

全9会計総額120億円可決
(前年度比13・5%増)

令和6年度 予算

町政運営の経費を基



主なしごと

特別養護老人 ホームの建替

13億7615万円

施設設備の老朽化等による利用者の生活環境やサービス機能の低下などを解消するため、改築整備を行います。



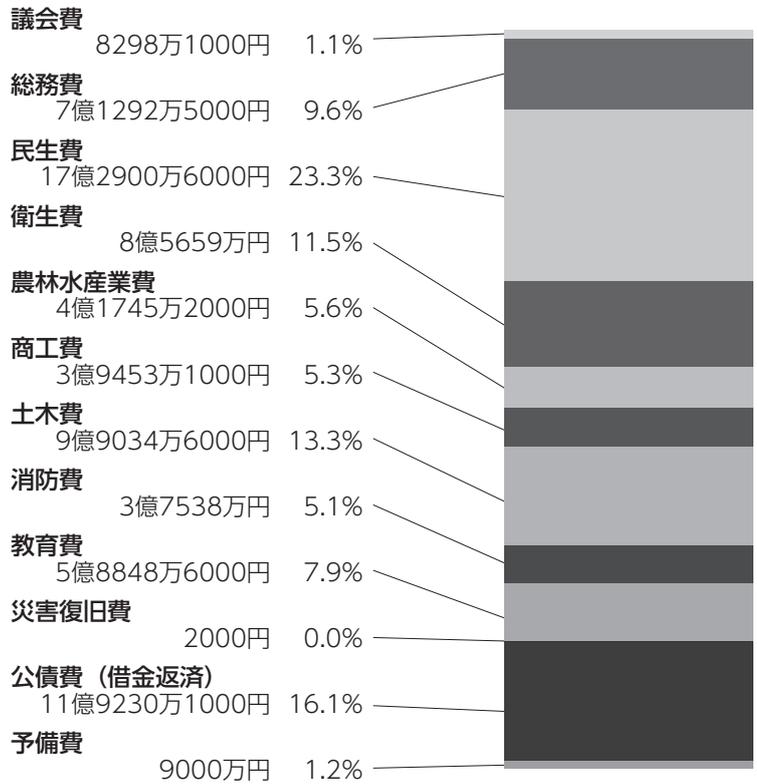
地球温暖化対策 実行計画策定

975万円

地域脱炭素事業を推進するため、法律に基づく「地域実行計画」を策定します。

町の借金にあたる町債の発行額は前年度と比較して12・6%減の3億4010万円です。令和6年度末の借金残高見込みは一般会計84億3996万円（全会計で116億7883万円）となります。

一般会計支出（歳出）



合計 74億3000万円

【予算の概要】

令和6年度は町長の改選期に当たするため、当初予算は、義務的・経常的経費を

（賛否の内訳はP11）
※一般会計は起立による採決を行い、賛成多数で可決

令和6年度予算審査のため、予算審査特別委員会（星加廣保委員長）を設置。一般会計、6特別会計、2企業会計の計9会計について、3月11、12日の2日間審査を行い、13日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額120億円の予算が可決されました。

中心に事業の緊急性や実施時期などを考慮した「骨格予算編成」となりました。一般会計予算額は74億3000万円です。前年度と比べて1億300万円の増となりました。

特別会計は、6会計合計35億1342万円です。前年度と比べて13億1969万円の増となりました。

一般会計の収入の約半分を占める地方交付税は36億9400万円を見込み、前年度と比べて6400万円の増となりました。

町税収入は前年度比4・4%増の9億3938万円を見込んでいます。

予算の使い道は

予算審査 特別委員会

3/6,11,12

委員長 星加 廣保
副委員長 小田 雅二

新年度予算についての
質疑内容を抜粋、
要約してお知らせし
ます。

一般会計

活き生きプロジェクト

問 プロジェクトの事業内容は。

答 国が推進する都市部の若い人を地方に呼び仕事と生活を体験してもらう「ふるさとワーキングホリデー」を継続する。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊起業支援補助金の内容は。

答 町内で起業または事業継承する場合に経費として補助金を交付し、町の活性化や定住を図る。

温暖化対策

問 計画の目標数値は。

答 国と同様、2030年度までに温室効果ガスの2013年比46%減を目指す。

空き家再生

問 空き家再生プロジェクトの取組内容は。

答 空き家売り手と必要人とのマッチングや空き家を活用して事業を始めるなど、先進事例を参考に事業に取り組む。

避難誘導標識

問 避難誘導標識や案内図等の部分補修や新設の内容は。

答 津波浸水区域の改正に伴い町内沿岸部の緊急避難場所を変更したことにより、標識の新設を4か所と補修を16か所、案内図の移設を6か所と撤去を1か所行う。

高齢者外出支援

問 支援対象を軽度の障がい者や75歳未満の弱者に拡大する検討は。

答 令和4年度から冬場の運転の不安などから運転免許証を持っている方も対象としたが、当面は対象を広げる予定はない。

中川一郎記念館

問 令和5年度の入館者数と今後の運営見直しは。

答 令和5年度の入館者数は350人。今のままの記念館という形で運営しているが、今後の運営方針については固まっていない。

子ども計画策定

問 計画の策定に当たり、子どもの意見を幅広く丁寧に集めて反映する必要があるのでは。

答 子どもの意見を丁寧に聞くことを念頭に調査を行い、計画に反映する。

公衆トイレ

問 公衆トイレ清掃管理委託料の内容は。また、修理や更新の考えは。

答 トイレの清掃やごみ拾い、周辺の草刈りを委託している。維持管理については、日々見回りなどをしながら、しっかりと進める。

高齢者外出支援交通費助成事業実績 (令和5年度)

対象者	1310人
申請者	881人
申請率	67.3%
交付額	1804万9000円
利用額	597万6000円
利用率	33.1%

※利用額・利用率は12月現在

新年度



ウッドランタン

問 ウッドランタンの販売収入は。

答 サンタランドウッドをブランド化して商品化に取り組むという構想はあるが、商品が出そろっていない状態で、本格的に販売は行っていない。

イルミネーション

問 イルミネーションの増設や点灯期間延長などの検討は。

答 周知は行わなかったが、令和5年度は十勝港花火大会からふるさと夏まつりまでの期間もイルミネーションを点灯していた。メンテナンスの関係上、一年中点灯させることは難しいが、効果的な集客を図り、町民に喜ばれるよう検討する。

観光振興

問 令和3年度から3年間地域おこし協力隊による体験観光の活動内容と成果は。

答 体験型観光のメニューづくりやフットパスコースの造成、カムカム昆布やサンタのつぶやきなどの特産品を開発した。

スクールカウンセラー

問 スクールカウンセラーの派遣が増えた理由は。

答 中学校を中心に派遣していたが、小学校での相談案件が増えたため、小学校にも巡回するよう派遣回数を増やした。

海洋博物館・伝習館

問 入館者数と開館日数は。

答 令和4年度は入館者数が1250人、開館日数は107日。令和5年度は入館者数が1498人、日数が104日。

教員住宅

問 入居率が良くないと聞か、今の空き戸数は。

答 管理戸数が32戸で入居が19戸、空きが13戸。

介護サービス会計

外国人介護人材

問 外国人労働者の採用にあたって職場環境の整備は。

答 空いている住宅を売却していく考えは。教員住宅を建て替える計画はなく、今後も売却等を含め民間活用を図っていく。

答 受け入れに関しては相応な配慮が必要であると考え、施設全体で職員研修なども行い、外国人が活躍できる職場環境を整えるよう努める。

令和6年度予算を可決

討論（一般会計）

反対 前崎 茂議員

ホームステイ交流事業の趣旨は理解するが、ふるさと納税寄附金は広尾の町民や子どもたちの交流事業に活用すべきである。また、滞納整理機構運営分担金は徴収実績に関わらず件数割を負担するなど制度に課題があり見直す時期に来ていると考え、本案に反対する。

賛成 萬亀山ちず子議員

継続事業中心の骨格予算編成ではあるが、地方自治の運営はしっかりと進める必要がある。ホームステイ交流事業は寄附金の意向に沿った事業執行をしており、町民が安心して暮らすための予算をはじめ、諸課題に対応した予算編成であるとして理解し、本案に賛成する。

令和6年
第1回
定例会
3/5~13

持ち込みごみの有料化

令和6年10月実施



ごみの重さによって負担する金額が決まる

現在、持ち込みごみは、南十勝環境衛生センターにおいて無料で受け入れられています。令和6年2月21日開催の南十勝複合事務組合議会において、令和6年10月から有料化されることとが決定しました。

○有料化を行う主な目的

・ごみの減量化や資源化の推進

・令和10年度から新中間処理施設で燃えるごみの広域処理を行うことに伴う一般

廃棄物の搬入量の割合で算出される十勝圏複合事務組合負担金の抑制

○有料となるごみ

・燃えるごみ

・燃やせないごみ

・燃やせないごみ

※資源ごみについては、引き続き無料で受け入れを行います。

○料金

10キログラム当たり

150円

その他決まったこと

条例の制定・改正

◆広尾町使用料・手数料等審議会条例の制定

◆広尾町予防接種健康被害調査委員会条例の制定

◆広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画運営推進委員会条例の一部改正

◆非常勤の特別職の職員に対する報酬、費用弁償支給条例の一部改正

委員報酬の見直しに伴い、設置根拠を規則や要綱で定めている委員会等を地方自治法に基づき、付属機関として条例制定するなどの整理をしました。

◆広尾町監査委員条例の一部改正

◆昭和三十九年の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、引用箇所を改正しました。

◆広尾町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、引用箇所を改正しました。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業中の会計年度任用職員への勤勉手当の支給除外規定を削除しました。

◆広尾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

運営に関する基準等を改正しました。

◆広尾町介護保険条例の一部改正

介護保険料の基準額や保険料率の特例措置、低所得者に対する公費負担軽減の継続等についての改正をしました。

◆**広尾町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正**

◆**広尾町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

介護保険関係基準省令の改正等に伴い、管理者の兼務範囲を明確にするなどの改正をしました。

◆**広尾町水道事業の設置等に関する条例の一部改正**

◆**広尾町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正**
地方自治法の改正等に伴う条項の追加などの改正をしました。

◆**広尾町水道事業給水管理条例の一部改正**

◆**広尾町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の**

一部改正
水道法の改正に伴い、所要の改正をしました。

補正予算

一般会計

広尾町移住支援金

△160万円

問 移住に関する問い合わせ等の件数は。

答 具体的な問い合わせ等はなかった。

問 問い合わせがないとのことだが、PR用冊子の配布状況と残数は。

答 移住フェアや道産品フェア、ア、西海市等の交流などの各種イベント等で配布している。現在の残数は100部程度。

ひろお生活応援クーポン券発行事業

3371万円

問 クーポン券を全戸配布するとのことだが、配布方法や不在時の対応は。

答 配布は宅急便で、不在時は他町村の事例を参考に3回程度は不在票を入れてに配布する予定。

予防接種委託料

△1638万円

問 大幅な減額の内容は。

答 主に新型コロナウイルスワクチン接種で、当初7000人分を見込んでいたが、

接種回数が3000回程度下回った。

ふるさと納税寄附金

△1億3100万円

問 当初予算より4割も減額となった要因は。

答 総務省の指導により返戻率を下げざるを得なかったことや魅力ある返礼品を用意できなかったことが要因と考える。

令和5年度 補正予算の内訳

一般会計 ①	77億2429万円	3億248万円	減
港湾管理特別会計 ④	1億1180万円	716万円	増
国保事業勘定特別会計 ⑤	9億2260万円	2727万円	減
介護保険特別会計 ⑤	7億2827万円	2492万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑦	2億9522万円	3556万円	減
後期高齢者医療特別会計 ③	1億2684万円	361万円	減
病院事業債管理特別会計 ①	6443万円	440万円	減
水道事業会計 ⑥			
収益的収入	3億902万円	94万円	減
収益的支出	2億9305万円	814万円	減
資本的収入	3914万円	198万円	減
資本的支出	1億5683万円	695万円	減
下水道事業会計 ⑤			
収益的収入	4億2468万円	397万円	減
収益的支出	3億4325万円	379万円	減
資本的収入	1億182万円	3023万円	減
資本的支出	2億7590万円	2811万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

意見書1件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書

提出者 浜野 隆議員

世界経済の不安定化や気候変動による食糧生産への影響など、食料を安定的に供給することが危惧される状況下で政策の構造転換が求められている。

将来にわたり持続可能な農業の発展を図り、生産現場の意見に寄り添った農政の確立に向け、食料・農業・農村基本法の改正を要望する。

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣



次のページは「行政報告・議案賛否・議員出欠状況」



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

消費税の加算漏れ

農村環境改善センター、農林人材育成支援センター、野塚交流館の3施設で使用料に消費税分を加算せずに請求していたことが分かった。平成30年4月から計130件分で、総額17万8756円である。対応としては、5年の時効が経過していない109件分の15万8066円を遡及して使用者に請求することとなった。

農業の生産状況

令和5年の農業生産額の概算値は、畑作・畜産合わせて86億6261万円と過去最高額を更新した。

物価高騰対策の支援

近年の物価高騰に対する緊急的な取組として、ひろお生活応援クーポン券を発行し、配布することとなった。

漁業の生産実績状況

令和5年の漁業生産は、地元水揚17億1081万円、外地水揚6827万円の合計17億7908万円で、これに外来船水揚49億9231万円を加え、67億7139万円となり、前年対比115・8%、9億2147万円の増となった。

持ち込みごみの有料化

南十勝環境衛生センターにごみを持ち込む際、令和6年10月から燃えるごみ、燃えないごみ、燃やせないごみが、10キロあたり150円の料金がかかることが決定した。なお、資源ごみは引き続き無料となる。

南十勝こども発達支援センター協定内容の変更

大樹にある南十勝こども発達支援センターは中札内村、更別村、大樹町、幕別町、広尾町の5町村で協定を結び、利用・管理・運営を行っていたが、幕別町が、忠類ふれあいセンターに発達支援センターのサテライトを開設するに伴い、令和6年3月31日をもって脱退した。幕別町脱退後の4町村で令和6年4月1日に協定を結んだ。

工事請負契約の締結

「広尾小学校エアコン設置工事」を有限会社田中建設と契約、「広尾中学校エアコン設置工事」を奥原・畑下経常建設共同企業体と契約した。工事内容は、広尾小学校の普通教室・特別教室に計28台、広尾中学校の普通教室・特別教室に同じく計28台のエアコンの設置である。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定

「自立支援・介護予防・重度化防止の推進」など9つの基本目標により、住み慣れた地域で誰もが自分らしく暮らし続けられるまちを目指し、地域包括ケアシステムの構築を図るため、令和6年度から令和8年度までの計画を策定した。
(関連記事を18ページに掲載)

障害者計画の策定

障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画を一体化し、障がいのある方が、自らの意思決定のもと、自立した生活形態や社会参加を選択し、必要とするサービスの提供を受けるため、令和6年度から令和8年度までの計画を策定した。
(関連記事を19ページに掲載)

食育推進計画の策定

第2期広尾町食育推進計画を策定した。第2期計画では、第1期計画での広尾町の食の現状や取り組みの評価を踏まえ、食の魅力があふれる元気なまちづくりを進めていく。

第6次まちづくり計画「実施計画」の見直し

令和3年度から開始した第6次まちづくり推進総合計画「実施計画」は財政状況や社会経済情勢等の変化に対応するため、事業の追加、修正など毎年見直しを行っている。今回行った見直しは新規追加が6事業、事業内容等の変更が23事業の合計29事業となった。見直しに伴い、10億9658万円の増額となり、事業費の総合計は435億7449万1000円となる。

令和6年 第1回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案 (議案名は一部省略しています)

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	松田健司	浜野隆	萬亀山ちよ子	前崎茂	北藤利通	志村國昭	星加廣保	欠番	渡辺富久馬	小田雅二	旗手恵子	山谷照夫	堀田成郎	
令和6年度一般会計予算	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛		賛	否	否	賛	-	可決(8-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。
※8番は欠番です。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和5年12月定例会終了後～令和6年3月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
1/26	第1回臨時会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
3/5	第1回定例会(条例制定・改正など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
3/6	第1回定例会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
3/7	第1回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
3/13	第1回定例会(新年予算など)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
開催日数計	5日	出席日数計	5	5	5	5	5	5	5		5	5	5	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
2/5	議会広報編集会議		-	-	-	○	○	○	×		○	-	-	○	-
2/7	第1回総務常任委員会		-	○	○	○	-	-	-		○	-	-	○	○
2/9	第1回産業常任委員会		○	-	-	-	遅	○	×		-	○	○	-	○
2/13	第1回議会広報特別委員会		-	-	-	○	○	○	○		○	-	-	○	○
2/13	第1回議会運営委員会		-	○	○	○	-	-	○		○	-	-	○	○
2/15	防災公園整備に係る調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
2/28	第2回議会運営委員会		-	○	○	○	-	-	○		○	-	-	○	○
3/6	予算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	-
3/11	予算審査特別委員会(新年度)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	-
3/12	予算審査特別委員会(新年度)		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	-
3/13	議会広報編集会議		-	-	-	○	○	○	○		○	-	-	○	-

※議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

※予算審査特別委員会・防災公園整備調査特別委員会は議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：該当外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
1/26	第1回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
2/2	議会モニター会議(1班)		○	-	○	○	○	-	-		○	-	-	○	○
2/15	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
2/15	中札内村議会議員等研修会(中札内村)		○	○	○	○	×	○	×		○	○	○	○	○
3/5	第3回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○



次のページは「一般質問」
『給食費無償化・带状疱疹予防接種・少子化対策』



一般質問



まえざき 前崎 議員

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。
※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

各議員の一般質問は録画中継にてご覧いただけます。
(QRコードは15ページ掲載)

学校給食費の完全無償化を

町長 支援施策の検討を進める

質問 全国の学校給食費完全無償化している自治体は2022年度では451まで増え、東京都内の23区については今年度から全ての区で学校給食費無償化を実施予定としている。北海道については2022年度には40自治体まで拡大し、現在も増加し続けている。十勝管内では無償化を行っている自治体は6町村まで拡大している。

本町の小中学校の児童生徒数は2005年時点で780人、2023年時点で345人と、18年間で半分以上まで減少している。物価高騰対策や子育て支援としての学校給食費の無償化で、保護者の負担軽減を図ってみてはどうか。

答弁 村瀬町長

学校給食費の無償化については、少子化対策、子育て支援策、保護者の負担軽減を図る上で有効な施策の一つであると認識している。町としては、限られた財源の中で、他の支援や施策を含めた中で検討した結果、現在のところ見送りとさせていただいているところがある。

今後も、少子化対策への効果も期待できる施策を模索していく中で、引き続き、子育て世代が安心して子供を産み育てる町を目指し、住民全体の様々なニーズをくみ取りながら支援施策の検討を進めていきたい。

带状疱疹予防接種の助成を

町長 国の動向等注視し、検討を進める

質問 発疹とともに強い痛みが出る带状疱疹は、治療により一週間程度で皮膚の症状は消え、带状疱疹後神経痛の痛みが数か月続くケースがある。重症化や後遺症を防ぐための带状疱疹ワクチン「シンブルックス（接種2回）」は発症の予防効果は97%と高い数値を示しているが、接種2回の金額が4万2000円と高額であり、接種をためらう高齢者の方もいる。

管内では、上士幌町が昨年度から、足寄町が今年度から带状疱疹予防接種助成事業を開始し、すでに豊頃町、浦幌町、中札内村も助成事業を実施している。本町でも、高齢者の方が広尾町で安心して住み続けられるために、予防接種助成事業を実施すべきでは。

答弁 村瀬町長

带状疱疹ワクチン接種の対象となる50歳以上の方は1月末時点で3753人おり、年間大体3〜5%の接種が見込まれると言われている。仮に対象である住民の方に対し接種費用の半額を助成する場合、年間約300万円程度かかると試算をしている。また、町が実施主体の定期接種とは違い任意接種のため、地方交付税措置がなく、費用の全額が町の負担となる。

以上のことから、予防接種法に基づいた定期接種について優先的に接種体制を構築するべきとの考えから、現状では任意接種である带状疱疹ワクチンの助成は想定していないが、今後の国の動向や社会情勢等を注視し、慎重に検討していく。



はたてけいこ 旗手恵子 議員

少子化対策、人口減少への考えは

町長 今後も様々な対策を講じていく

質問

日本の人口は、2008年に1億2800万人に達し、これをピークに減少傾向が続いている。中でも少子化問題は深刻で、第1次ベビーブーム（1947年）には268万人だった出生児数が、2023年には75万8千人

にとどまり、急速に少子化が進んでいる。広尾町の出生数に関しても同じことが言える。

答弁

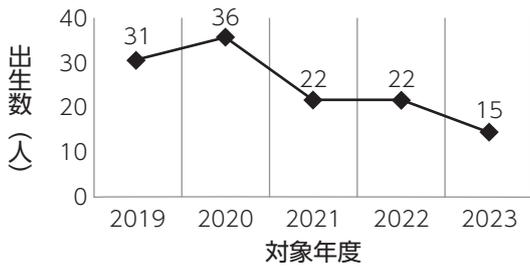
村瀬町長

少子化対策の一つとして、働く場所の確保とともに子育てをしやすい環境を整える、という二本柱が重要であると考えている。本町の合計特殊出生率について、

2016年に広尾町で人口ビジョンを策定した際、合計特殊出生率が2040年に2.07に上昇するとされてきたが、2020年に1.44に下方修正されていたがなぜか。

2021年度までの数値が発表されているが、1.67と、全道・全国平均を上回る率となっている。しかし、本町の20歳から39歳の女性の人口及び割合は2010年が652人で18.3%、2023年では398人で12.8%まで減少している。人口減少率が当初の予想よりも加速していること、また広尾町における人口減少の大きな要因は社会減であることなど、現実を捉え、社会減を段階的に抑制する

広尾町の出生数の推移



さらに、本町の20歳から39歳までの人口割合が直近22年の間に652人から398人となり、254人も減少していることから、少子化対策の一步として、女性の雇用の確保、非正規雇用から正規雇用へ転換を図るなど、町自ら率先垂範して取り組むことが必要ではないか。

形としたことから、合計特殊出生率1.44を維持することとした。

町として、結婚新生活支援補助金、不妊治療費等助成事業、出産・子育て応援給付事業、出産祝い金や18歳までの医療費無料化など、安心して子育てできる環境の整備に努めており、働く場所の確保としては、十勝港へ新たな物流を呼び込み、新航路開設をするなど活性化を図りながら新たな職場の創設に努めていきたい。

合計特殊出生率（5年ごとに公表）

15歳から49歳までの女性の年齢ごとの出生率を合計したもの。

$$\text{出生率} = \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

議会を傍聴

しませんか

仕事の合間に！

友達と！

団体などで！

町議会を

見に来ませんか

手続きは簡単



役場の3階に

お越しください

「傍聴人入口」で住所・氏名を記入

傍聴席へどうぞ！

席は自由です

次回
定例会は
6月中旬
開会予定

※団体で傍聴を希望する方は、議会事務局にご連絡ください。
(02-0180)

次のページも「一般質問」
『災害からの教訓・産後ケア』



おだまさじ 議員
小田雅二

災害からの教訓として何を学ぶか

町長 対策を講じていきたい

質問 この度、能登半島地震で被災した自治体において、多くの死者や負傷者が、また住宅、建物の損壊など大変な状況下

にあり、今なお1万人以上の方が避難を余儀なくされている。また、復興に向けて多くの方が日夜頑張っている姿に敬服の意を表したい。

そこで、広尾町の現在の防災計画や対策についての見直しや、再検討についての考えを伺う。例として、石川県の地域防災計画は1997年から更新されてお

らず、被害の想定も、今回の被害と比べて大幅に低い試算であり、避難場所となった学校においても、ストーブや毛布の備蓄はなかったとのこと。その他にも想定していないかったこととして、

災害用の井戸の整備、女性や妊産婦、乳幼児向けの用品の備蓄などが進んでいなかった事実があげられている。

十勝の各市役所にある防災品の備蓄状況についての新聞報道があり、鹿追町で「FCEV(燃料電池自動車)」を公用車として導入するなど各自治体それぞれに検討や実施がされているようだが、広尾町としての総合的な考えを伺いたい。

答弁 村瀬町長

備蓄関係は、津波を想定した浸水区域内の住民の方を対象としての数量の確保である。全町民分というものはなかなかできないことなので、ご理解をいただきたい。また、暖房等の関係だ

が、備えとしては発電機、ポータブルストーブを用意している。

女性や妊産婦、乳幼児等の用品の備蓄に関しては、防災会議だけでなく、実際に必要とする方々からの意見を聞く場は大事だと思っており、今後、意見を聞く場の設置等の取組みをしていきたいと考えている。福祉避難所も設けており、福祉避難所での妊産婦の方や乳幼児向けの備蓄に何が必要かというのも計画の中にあるので、しっかり対策を講じていきたいと思う。

また、水の確保に関して、井戸の対策については防災計画では載っていないが、本町においては防火水槽が全町内に76基ある。1基あたり60トンの水槽であり、飲料

水には使用できないが、生活用水としては使用可能である。

電気自動車の関係は、本町の公用車として1台導入しており、最低限の対策本部の電気はそこで賄う事になっている。また、各施設の非常電源の確保や大きな発電機なども、さまざまな

業者と契約をして対応することとしている。

総合的に、まだまだ多岐にわたった課題があり、他の地域で起こったことを自分事として、しっかり対策を講じることが必要だと考えている。

災害対策を発展させるべく

議員研修

2/15

中札内村議会議員等研修会

議会改革及び地域活性化の一層の推進を図るため、弁護士の岡本正氏を講師とした研修会(中札内村議会主催)に参加いたしました。
※内容は抜粋しています。

被災とは

被災とは「お金とくらしの困難に陥るものであり、家を建てるためのローンの残り、キャッシングカードや通帳の紛失など多くの困難に当面する。その際はローンの減免措置や給付金などの支援を受けることが可能なため、最悪の場合を考え、手続きできる準備をしておくことが大事である。

災害の備えについて

十分に災害対策をしていても、被災による困難には誰もが直面する。そこで、被災した後の「生活を取り戻す知恵」も備えるべきである。



※FCEV(燃料電池自動車)
ガソリンの代わりに、水素を補給し、酸素と水素を使って電気エネルギーを生み出しエンジンを動かす自動車のこと



議員 萬亀山ちず子

産後ケアのデイサービス型の支援体制を

町長 支援の充実に向け、検討する

質問

令和3年度から少子化社会対策大綱に基づき、核家族化の進展、共働き家庭の増加、地域の希薄化など、家族の在り方や家族を取り巻く環境が多様化している。

ひとり親家庭や再婚家庭など、家族の在り方や多様であり、また、母親の都市部への人口流入を背景に、自分の生まれ育った地域以外で子育てをする家庭や不安や悩みを誰にも相談できず孤立して子育てをする家庭が少なくないことから、母子保健法の改正により「産後ケア事業」の支援体制整備が構築された。

市町村の努力義務となっているが、管内では全ての市町村が取り組んでいる。これまでの広尾町の利用状

況等はどのような内容で取り組んでいるのか。

また、訪問型、デイサービス型、宿泊型があるうちの、広尾町では訪問型のみを採用しているようだが、デイサービス型の設置も求めたい。

併せて、非課税世帯、生活保護世帯、多胎児などのケアの扱いはどのようになっているのか。

広尾町の少子化対策として、子供を産み育てている母親の悩みを真摯に受け止める大切な事業だと思いが、町長の考えを伺いたい。

答弁

村瀬町長

応じて利用していただける。なお、非課税世帯及び生活保護世帯の方は無料としている。

現在、本町では、産後ケア事業として、「訪問型」により退院後の母子の状況に合わせた支援等を委託している。この事業は令和4年7月から始めており、利用状況は、令和5年度は申請者が27名のうち4名の方が利用されている。産後ケア事業の対象者は産後1年未満の母子であり、町では出産後速やかに産後ケアを利用いただけるよう、妊娠中から申請をいただくよう支援を行っている。

産後ケアの利用料金だが、子が一人であっても双子等であっても1回につき1650円となっている。回数 は原則5回となっているが、多胎児の場合など、必要に

デイサービス型の実施だが、広尾町から一番近い事業所は帯広市内の事業所となり、心身の疲労を軽減するといふ事業の目的や事業所までの移動の負担などを考慮し、現在は実施を見送っている。なお、デイサービス型を開設する場合は、適切な授乳のケアができる助産師を中心とした実施体制を構築することが必要であり、町単独でデイサービス型の施設を開設することは困難と考えている。今後、デイサービス型の利用を希望される方が出てくることも予想されるため、事業委託については前向きに検討したい。

子供を安心して産み育てる環境は本場に大事な環境整備だと考えており、産後鬱や孤立化を防ぐため、柔軟な対応をし、安心・安全で健やかな妊娠、出産、産後の支援体制を充実させていきたい。

前崎議員、旗手議員、小田議員、萬亀山議員の一般質問はこちらから

過去の録画中継も見れるよ

町ウェブサイト「議会インターネット中継」QRコード

防災公園整備に係る

調査特別委員会報告書（概要）

委員長 山谷 照夫 副委員長 前崎 茂

令和5年第2回定例会（6月7日）において設置された「防災公園整備に係る調査特別委員会」より、令和6年第1回定例会で調査結果の報告がなされました。

概要は次のとおりです。

町民の多様な意見を受け地方自治における二元代表制の一翼として、町と議会において、それぞれの機能がより一層の機能を果たしつつ取り組んでいく政策事業と認識し、特別委員会の設置から今日まで、様々な活動を通じて調査を行ってきました。

その結果を踏まえ、町長へ特別委員会として「防災公園整備に係るあり方」の提言書を提出しました。

【調査の経過】

令和5年第1回委員会で正副委員長の互選を行い、第2回から第4回までは町部局からの事業費の変遷等について説明を受け、議員相互間における「自由討議」により審議を行いました。

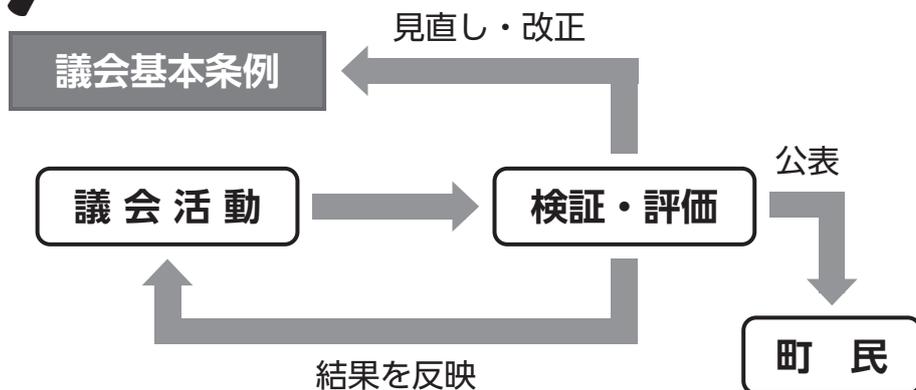
第5回、第6回では自由討議による審議と特別委員会としての提言書提出について協議を行いました。

12月25日には「防災公園整備に係るあり方」の提言書を町長へ提出しました。

令和6年第1回委員会で、町長より「防災公園整備に係る令和6年度の事業内容」について説明を受けました。

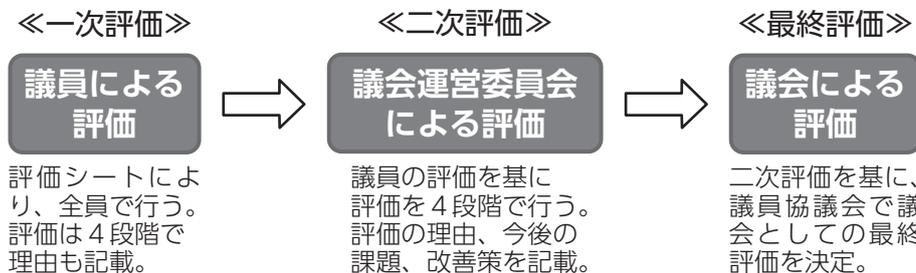
※委員会報告後、議長の調査終了宣告により本委員会は消滅しました。

議会基本条例の検証・評価を実施



「議会基本条例」に基づき行う議会活動の内容（活動できたか、できなかったか。どのように活動したか）について議会は検証・評価を行い、その結果を翌年以降の活動に反映させていく必要があることから、令和4・5年の活動について、検証・評価を実施しました。

議会基本条例 検証・評価の実施方法



評価結果の詳細は、
広尾町ウェブサイト
に掲載しています。



町ウェブサイト
「広尾町議会改革」
QRコード

評価実施後の取り組み

- ①議会として決定した「今後の課題及び改善策」について検討を行い、翌年以降の取り組みに反映させていく。必要があれば条例、規則等の改正を行う。
- ②検証・評価内容について、議会広報、議会報告会などで町民へ公表する。

見た！
聞いた！
考えた！



常任委員会所管事務調査

産業常任委員会

出席委員：委員長 おだまさじ 小田雅二 副委員長 はたてけいこ 旗手恵子
まつだけんじ 松田健司・きたふじとしみち 北藤利通・しむらくにあき 志村國昭・議長 ほりたしげお 堀田成郎

調査日 令和6年2月9日

サンタランド事業の概要

広尾サンタランド事業について、室谷水産商工観光課長、山田水産商工観光課長補佐から説明を受けた。



← 広尾サンタランド認定40周年記念で作成されたロゴマーク

広尾サンタランドの誕生と歴史

サンタランドの誕生

1980年にノルウェーのベルゲン市にある国立水族館とシーサイドパーク広尾の海洋水族科学館が姉妹提携したことが縁となり、ノルウェーとの交流が始まった。首都オスロ市にて、世界中から届くサンタクロースあての手紙に、返事のクリスマスカードを送るという事業を行っていることに注目した広尾町は、日本の子供たちにも伝えたいと考えオスロ市に相談し、1984年に、当時の市長から広尾町を国外初、日本で唯一の「サンタランド」とする認定を受けた。

活動の歴史

認定を受けた1984年から活動を開始し、クリスマスツリーを全国各地へ贈り平和の灯を灯すリレー点灯式をはじめ、その翌年か

らは、広尾サンタメール（現在の広尾サンタカード）事業も行っている。

現在は日本郵便株式会社の後援を得ながら独自のクリスマスカードにより事業展開を行っている。

サンタランド事業の推進

広尾町の主な事業内容

- ・ 観光案内所の運営（指定管理者による）
- ・ サンタランドツリー点灯式（10月の第4土曜）
- ・ イルミネーションの実施（町内及び各地域）

各事業の推進として、サンタカード事業は申込件数が昨年減少したため、インターネット申込の利便性を図り、一年を通していつでも申し込めるようにしたり、大阪市の阪急うめだ店にてサンタカードのキャンペーン

ンを行ったりした。

今年にはサンタランド認定から40周年ということから記念事業開催時に、ノルウェー大使を招待することを検討している。

Q&A

Q. サンタランドの魅力の一つとして、メロディロードやグランピングができる場所を設置できないだろうか。

A. 費用等を調べ、考えていきたい。

Q. サンタランドツリー点灯式での花火は、楽しみにしている人が多い。そのため、ほかにプロジェクションマッピング等も取り入れてみてはどうか。

A. 花火はインターネットにて生配信をし、現地にはいない方にも見ていただけるようにしている。今年も、40周年記念事業として、ドローンの使用などいろいろ検討したい。



次のページは「常任委員会」「臨時会」

考えた!



総務常任委員会

出席委員：委員長 ^{まえざき}前崎 ^{しげる}茂 副委員長 ^{まきやま}萬亀山 ^こちず子
^{はまの}浜野 ^{たかし}隆・^{わたなべ}渡辺 ^{ふく}富久馬・^{くま}山 ^{やまやてるお}谷照夫・議長 ^{ほりたしげお}堀田成郎

調査日 令和6年2月7日

の現状 所管事務調査

- ・第9期計画の基本目標
- ・自立支援、介護予防、重度化防止の推進
- ・福祉サービスの充実と暮らしの基盤整備
- ・認知症施策の推進
- ・在宅医療・介護連携の推進
- ・地域ケア会議の推進
- ・社会参加と見守り、支えあいの推進
- ・権利擁護の推進
- ・重層的支援体制の推進
- ・介護保険制度の円滑な運営

第9期広尾町高齢者保健福祉計画・

広尾町介護保険事業計画

計画策定の背景

介護保険事業計画は、3年を1期として策定することとなり、制度を開始した平成12年度を1期とし、令和6年度から令和8年度までを第9期計画として計画策定をしている。

計画の策定は、広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画運営推進委員会を3回開催し、審議している。

第9期計画の基本理念

1. 健康寿命を延ばし、自分らしい生活を最期まで送ることができる町
2. ネットワークを築き、見守り、支えあえる町
3. 介護が必要になっても、だれもが選択と意思決定ができる町

主な質疑・応答

第9期計画の基本方針

第6次まちづくり推進総合計画のまちづくり基本目標を目指して推進している。高齢者、障がい者等が抱える複合化・複雑化した生活課題・ニーズに対応できるよう、重層的支援体制の推進を図る必要がある。

Q 特別養護老人ホームのショートステイが10床から1床になることで、希望日に利用できなくなるのでは？

A 特老の入所者が入院することで空床となり、そこを利用することを想定している。

Q 役場内のオストメイトトイレが奥まわってわかりにくいのでは？

A オストメイトトイレの設置公共施設は、役場庁舎・図書館・本通5丁目公衆トイレの3施設となっている。

Q 介護保険の持続可能で円滑な運営を図っていく上での課題は？

A 保険料収入、公費負担、準備基金を運用して町民に負担をかけないよう運営していく。

Q 介護等における人材確保の見通しは？

A 介護職員初任者研修の開催や、修学資金貸付制度の創設に取り組んでいるが、研修は希望

見た！
聞いた！



ひろお 常任委員会

第4期広尾町障害者計画

計画策定の背景

障害者計画は、障がい者のための施策に関する方向を示す「市町村障害者計画」、障害者総合支援法に基づく、障害福祉サービス及び生活支援等の提供体制の円滑な実施をするために策定する「市町村障害福祉計画」、児童福祉法に基づく、障がい児支援の提供体制の確保を示す「市町村障害児福祉計画」を一体的に策定する。

第4期計画の基本目標
・誰もが安心して暮らせる、支えあいのまちづくり

計画の策定は、「広尾町障害者計画策定委員会」を3回開催し、審議をしてきた。

第4期計画の体系

- ① 相談体制、福祉サービスの充実
 - ・相談支援体制の充実
 - ・福祉サービスの充実
 - ・権利擁護の推進
- ② 保険・医療の充実
 - ・疾病予防と早期発見、治療
 - ・適切な保険、医療の提供
- ③ ライフステージにあった支援体制の充実
 - ・早期発見と発達支援体制の充実
 - ・保育、学校教育の充実
 - ・雇用、就業の推進
- ④ 安心・安全な生活環境の整備
 - ・安心、安全な生活環境の整備促進
 - ・防災、安全対策の推進
 - ・情報提供、コミュニケーション支援体制の推進
- ⑤ 理解と交流の推進
 - ・障がい者への理解の推進
 - ・町民活動への支援、推進

第2回 臨時会

5/8

令和6年第2回臨時会が5月8日に開かれ、議会の委員会構成などを決定したほか、条例改正、補正予算など議案7件を審議。いずれも原案のとおり可決し、閉会しました。

※議会の新体制はP2・3に掲載しています。

条例の改正

◆**広尾町税条例の一部改正**
令和6年度分の個人住民税について、定額による所得割額の特別控除（定額減税）を行うなどの改正をしました。
減税額は本人及び配偶者を含む扶養親族1人につき1万円。

◆**広尾町都市計画税条例の一部改正**

地方税法の改正等に伴い、必要事項を改正しました。

行政報告

集いの杜本格オープン

野塚交流館「集いの杜」2階部分のおもちゃ館とコミュニティースペースを5月9日以降、木曜日から土曜日までの週3回、午前10時から午後4時まで無料開放する。

令和5年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑫⑬	77億710万円	1718万円	減
介護保険特別会計 ⑥			※増減なし
介護サービス事業特別会計 ⑧	2億9372万円	150万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)

令和6年度 補正予算の内訳

一般会計 ①	74億3000万円		※増減なし
--------	-----------	--	-------

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)

次のページは「議会日誌・ぎかいトピックス」

議会活動日誌

令和6年3月～令和6年5月

【3月】

- 1日 第72回広尾高等学校卒業式
- 2日 広尾町文化賞・スポーツ賞等表彰式
- 5日 第1回広尾町議会定例会（～13日）
- 24日 十勝スカイアース「サッカー教室」

【4月】

- 8日 広尾高等学校入学式
- 13日 「農業・インバウンド戦略を考える」講演会（帯広市）
- 23日 十勝町村議会議長会役員会（帯広市）
十勝町村議会議長会定例会（帯広市）
十勝圏活性化推進期成会 委員会（帯広市）
- 26日 新議員説明会

【5月】

- 8日 第2回広尾町議会臨時会
第4回議員協議会
- 10日 厳島神社春季祭典
- 12日 広尾町消防団春季消防演習
- 16日 第2回議会広報特別委員会

- 17日 広尾町商工会通常総会
- 21日 第3回広尾町議会臨時会
第5回議員協議会
広尾町議会議員会総会
- 23日 十勝圏活性化促進期成会定期総会（帯広市）
- 24日 海難碑、延命地蔵尊供養祭
広尾町北方圏交流振興会総会
- 29日 広尾町自衛隊協力会定期総会
- 31日 十勝圏複合事務組合議会臨時会（帯広市）
南十勝複合事務組合議会臨時会（大樹町）

閉会中の所管事務調査

議会運営委員会は、令和6年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

3 / 5 全国議長会から表彰

堀田成郎議長は町議会議長として7年以上、議員として15年以上、山谷照夫副議長、前崎茂議員、渡辺富久馬議員は、町議会議員として15年以上在籍し、永年にわたる地方自治振興発展に貢献された功績が認められ、このほど全国町村議会議長会から表彰されました。堀田議長は山谷副議長から、ほか3議員は堀田議長から伝達されました。

